写真：平成20年桜島昭和火口からの噴火

防災気象講演会

火山噴火災害への備え

日時：平成27年11月29日(日)
13:00～16:00(開場12:30)

場所：姫神ホール(大ホール)
盛岡市玉山区渋民字鶴塚55

事前申し込み不要
先着600名
入場無料

「わが国の火山活動の現状と今後」

藤井 敏嗣 氏(東京大学名誉教授 火山噴火予知連絡会会長)

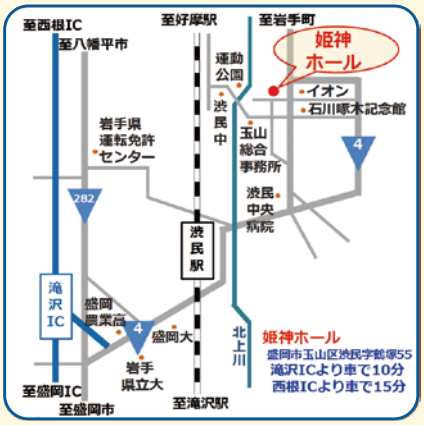
「岩手県の火山災害と防災」

土井 宣夫 氏(岩手大学教授 岩手県の火山活動に関する検討会委員)

「火山の監視と情報」

青木　元 氏(盛岡地方気象台長)

会場案内図



主催：盛岡地方気象台・岩手県
後援：盛岡市・一関市・八幡平市・滝沢市・雫石町　協力：日本赤十字社岩手県支部

詳しくは盛岡地方気象台まで
電話 019-622-7870　ホームページ http://www.jma-net.go.jp/morioka/html/knowledge__kouenkai.html

開催主旨

昨年９月の御嶽山の噴火は、死者･行方不明者 63 名という甚大な被害となりました。一方、鹿児島県の口永良部島では、今年５月の噴火により全島避難となりました。このほか、箱根山や桜島など、最近は全国各地で火山活動が活発になり、東北地方でも吾妻山や蔵王山で火山活動に高まりが見えています。

岩手県には、岩手山、秋田駒ヶ岳、栗駒山、八幡平の四つの活火山があり、過去から噴火を繰り返してきました。今後これらの火山が活発化した場合に備え、わが国の火山活動や噴火予知の現状、県内火山の特徴を知り、あらためて火山噴火災害への備えを確認します。

講師紹介

東京大学名誉教授　火山噴火予知連絡会会長

藤井 敏嗣　（ふじい　としつぐ）

プロフィール

理学博士。専門はマグマ学、火山学、実験岩石学。東京大学卒業。東京大学地震研究所教授・所長、東京大学理事・副学長を経て、2010 年から名誉教授。現在、CeMI 環境･防災研究所所長、山梨県富士山科学研究所所長。火山学や火山防災に関わる学協会や審議会等の各種委員を歴任。火山噴火予知連絡会では、2003 年から会長を務める。

岩手大学教育学部教授　岩手県の火山活動に関する検討会委員

土井　宣夫　（どい　のぶお）

プロフィール

理学博士。専門は地質学。東北大学卒業後、日本重化学工業株式会社、岩手県総務部総合防災室を経て、2009 年から現職。1998 年の岩手山の火山活動活発化を契機に火山防災に力を注ぎ、県内活火山の観測・研究を進めるとともに、岩手県の火山活動に関する検討会や火山防災協議会の委員として活躍。

盛岡地方気象台長

青木　元　（あおき　げん）

プロフィール

1983 年気象庁入庁。気象大学校卒業後、各地の気象台で勤務。仙台管区気象台地震情報官、気象庁地震火山部火山課長補佐、管理課長補佐、地震情報企画官等を経て、2014 年から現職。岩手県の火山活動に関する検討会や火山防災協議会にも委員として参画。